

令和4年度 芸術(音楽) 科  
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
α 音楽Ⅱ	音楽Ⅱ	2	A C ▼	2	自由選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義、演習、発表
教科書	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti, 教育出版社
使用教材等	記録シート、プリントの楽譜、資料

科目の目標・内容等

学習目標	芸術必履選択科目<音楽Ⅰ>の応用編として、より深く歌唱や器楽を学習する。
学習における留意点	A組のクラスとC組のクラスから自由選択<音楽Ⅱ>受講生、生徒各20名前後の個々の学習能力を把握して授業を進行する。
予習・復習	歌う楽曲やピアノ(キーボード)・ギターの全体練習および個人練習時間を設定。
評価方法	独唱・独奏、「記録シート」および授業へ向かう態度。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>発声練習とストレッチ</li> <li>歌唱 「Amazing Grace」「When You Wish Upon A Star」「A Whole New World」 /日本語訳詞と英語歌詞 「小さな空」「島へ」「翼」 (武満徹の声楽作品)</li> <li>ピアノ(キーボード)独奏 「Menuett」(J.S.Bach)/他</li> </ul>	<p>【新型コロナウイルス対策による歌唱が不可能な場合は、器楽(ピアノ・ギター)を先行して取り組む。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な発声の姿勢</li> <li>各曲のテキスト(歌詞)からイメージして世界観を考えながら歌う。</li> <li>歌を通して自己表現する。</li> <li>英語歌詞の歌唱方式の発音練習</li> <li>指定された指使いで右手・左手・両手の順で簡易なピアノ曲を練習する。</li> <li>ピアノを通して表現力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全体練習で、②独唱で、③独奏での到達点。</li> <li>個別練習に向かう姿勢(正確な譜読み・集中度)</li> <li>「記録シート」へ記入した感想・意見</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>発声練習とストレッチ</li> <li>歌唱 「Moon River」/英語歌詞 「Ah! Vous direz-je, maman きらきら星」 「Les Feuilles mortes 枯葉」/フランス語歌詞</li> <li>ギター(クラシック) 音階のポジション(最低音域から最高音域まで) 「海に見える街」 「私のお気に入り」 「Sc Scarborough Fair」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語訳詞でメロディーを把握する。</li> <li>外国語の歌唱法 発音練習、アクセントや子音の付け方 表現方法を広げる。</li> <li>ギター奏法の基礎と応用 フレット上のポジションを高音域まで把握する。コードチェンジ奏法 生徒に馴染み深い曲のメロディーを弾く。(中級編)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全体練習で、②独唱で、③独奏での到達点。</li> <li>個別練習に向かう姿勢(正確な譜読み・集中度)</li> <li>「記録シート」へ記入した感想・意見</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>発声練習とストレッチ</li> <li>歌唱 「My Favorite Things」 「Some Day My Prince Will Come」英語歌詞 「Aux Champs-Élysées」フランス語歌詞</li> <li>ピアノ(キーボード)の弾き歌い 「いつか王子様が」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期と2学期の応用編としての歌唱方法</li> <li>簡易な伴奏楽譜で右手・左手・両手の順で歌と合わせ、オリジナルの世界観を意識して演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全体練習で、②独唱で、③独奏での到達点。</li> <li>個別練習に向かう姿勢(正確な譜読み・集中度)</li> <li>「記録シート」へ記入した感想・意見</li> </ul>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。